

ウェルおおさか

vol.134 2021.10 隔月発行(偶数月1日)

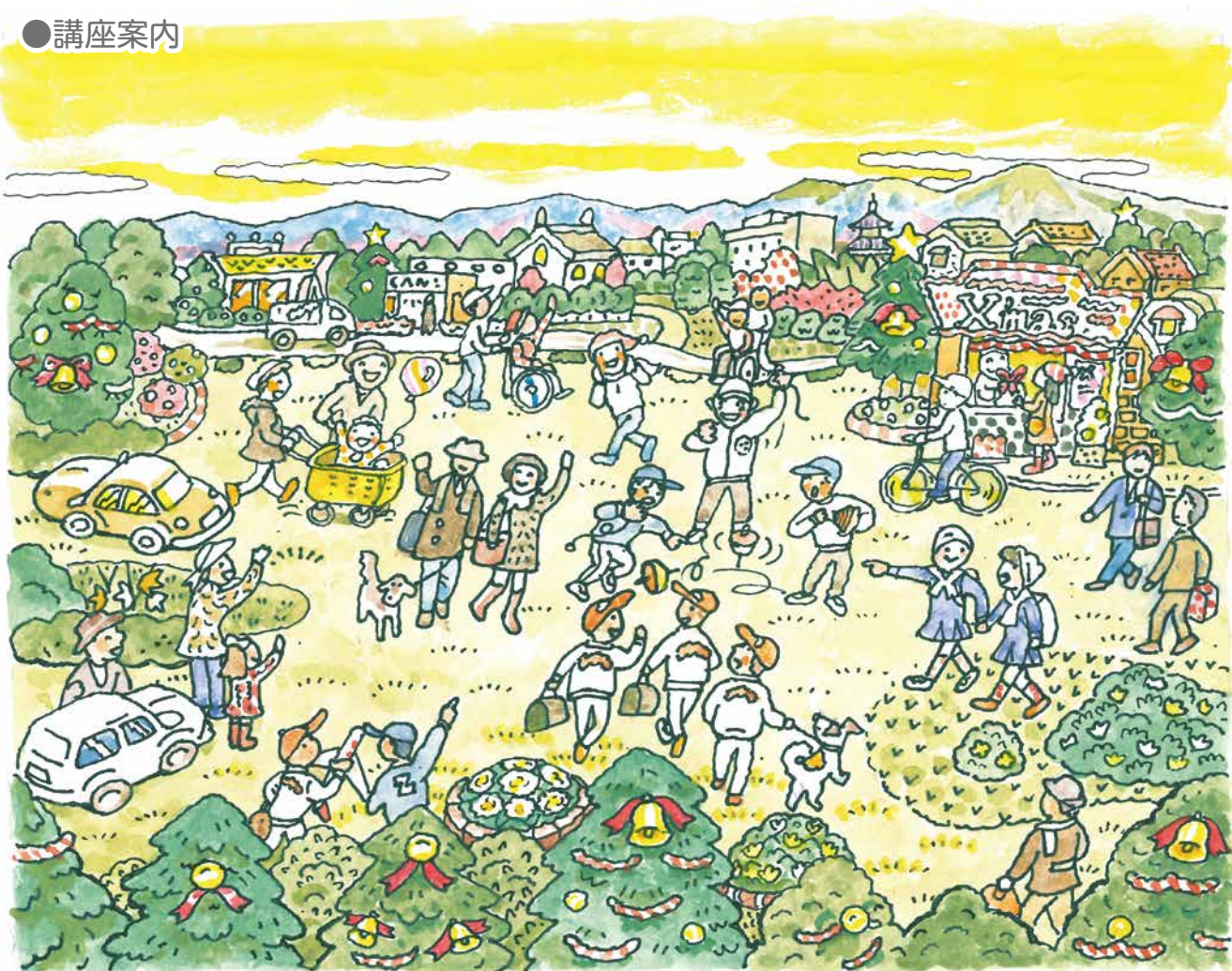
特集

これからの福祉教育(共育)

～ともに生きる社会をめざして～

●図書・資料閲覧室からのお知らせ

●講座案内



これからの福祉教育(共育)

～ともに生きる社会をめざして～

我が国は、住民が主体となって地域づくりに取り組む「地域共生社会」をめざしています。「地域共生社会」の実現には、障がいのある人、認知症の人、外国につながる市民、刑余者など、さまざまな生活のしづらさを抱える人と「ともに生きる」という視点が欠かせません。一人ひとりが生きづらさを抱える人の暮らしや思いに目を向け、意識することが求められています。このような意識を共有するために、学校や地域をはじめ、さまざまな場所で福祉教育が取り組まれています。

今回は、「地域共生社会」をめざすなかで必要となる、これからの福祉教育の取り組みや視点、大切にすべきことについて考えてみたいと思います



誰もが、当事者 福祉は特別ではない

福祉とは「特別な人や状況にある人が受けるサービス」のことで、「福祉の人」といえば福祉専門職」という認識から、自分とは関係がないと思っている人は、少なくないかもしれません。しかし、多くの人が、人生のある時期や何かのきっかけで、福祉サービスを利用するはず。また、地域社会で暮らせば、誰もが何かしらと、他人を助け、助けられる経験をします。福祉は、特別なことではなく、「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせ。私たちは、みな福祉の当事者だと

いえます。

一方で、昨今、社会構造が変化し、人々の暮らしが変化するなかで、地域社会では、さまざまな分野から課題が発生し、複雑化しています。これらの課題を解決するための一つの方向性として、我が国が掲げているのが「地域共生社会」です。「地域共生社会」とは、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを、「支え手」「受け手」という関係をを超えて、ともに創っていく社会をいいます。

人権を尊重し、ともに生きる 「地域共生社会」

「地域共生社会」には、福祉教育が欠

かせません。福祉教育は、子どもにとっては成長の糧になり、地域にとっては、福祉力を高めることにもつながります。

一般的に、福祉教育として車椅子・アイマスク体験などを思い浮かべるかもしれませんが、もちろん、障がいのある人の不便さを伝えたり、手助けのスキルを身につけたりすることは今も重要ですが、「地域共生社会」をめざすには、それだけでは十分ではなく意識改革が必要です。人との関係性のなかで、ともに生きる力を育み、福祉の価値を学び合う福祉教育が求められています。

これからの福祉教育に必要なのが、障がいのある人、認知症の人、外国につながる市民、刑余者、マイノリティ(少数派)の人だけでなく、あらゆる立場や状況にある人、異なる意見や価値観をもつ人の人権が尊重されるように、多様性を認め合う感覚を磨くこと。同時に、一人ひとりが主体となって、人の困りごとや生活のしづらさを「自分の課題」として捉え、考え、悩み、行動していくことです。

次ページからは、住吉総合福祉センター、当センターが開催する市民向け介護講座にもご協力をいただいている淀商業高等学校の取り組みと意思をお届けします。



▲淀商業高等学校が製作された福祉教材

福祉のこころを伝えたい一心で 子どもたちや先生との対話を重ねる

社会福祉法人 ライフサポート協会・住吉総合福祉センター

「生きづらさ」を つくっているのは誰?

住吉総合福祉センターでは、区内の小・中学3校の授業で福祉教育を担当しています。全学年で取り組む小学校では、高齢、知的障がい、身体障がいなど対象別に各学年でテーマを設け、車椅子体験や高齢者疑似体験、講話を組みあわせて実施します。高学年は、主に住吉総合福祉センターへ来所し、利用者と交流する機会を持ちました。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモートで利用者の生の声を聞く体験を予定しています。

館長・原田徹さんが、講話で伝えているのは、「福祉に関係ない人」はいないこと。

「例えば、点字ブロックの上に自転車かとめられている駐輪場の写真を見せ『視覚障がい者の生きづらさってどこにある?』と考えてもらいます。それが、点字ブロックにあるなら、『自転車を置いたのは誰かな?』『視覚障がい者の生きづらさって、僕らがつくっているんじゃない?』と気づいてもらいます。また、『それが理解できたら、福祉関係者の一員。知らなかった、ではすまされないよ』と福祉に自分が関わっていることを感じてもらいます」

「一緒にできること」を 探すなかで

ある時は「車椅子とバスケット」というゲームを通して、福祉の本質を伝えます。

まず、1チーム5人のうち、2人が車椅子でバスケットを始めます。すると自然に、誰も車椅子の子にボールを回さなくなり、立っている人だけのプレーになりま

す。やるほうも観るほうも「楽しくない」ことを確認してから、「車椅子のメンバーと一緒に楽しむなら、どんなルールがいいか」考えてもらいます。「車椅子の子からのパスでないとシュートできない」「ゴールを下にもつくる」「もう一人、手助けする人を入れる」など、たくさん意見がでてくるそうです。

「面白いことに、自分たちで考えたルールが決まったとたんに、『どんなパスなら取りやすい?』と車椅子の子とコミュニケーションをとり始めるんですよ。この体験を通して、一緒にできることを、みんなで考え、創っていくことこそが福祉だと伝えたいですね」と原田さん。

福祉施設を日常に溶け込ませる

同施設1階のロビーは、地域の人たちに開放され、気軽に立ち寄れる場となっています。子どもたちが、待ち合わせに使ったり、遊んだり、宿題をしたり、お茶だけ飲みに来たり、障がいのある人が働くラーメン屋でご飯をたべたり、日常の暮らしに溶け込んでいます。

学校では友達となじめなかった不登校の子が、ここに来ることをきっかけに少しずつ学校に行けるようになったり、やんちゃだった子が、建設会社を立ち上げ、現場で働く若い子連れれてきてくれたりすることもあります。福祉教育を担当する崎本優子さんは、同施設の存在そのものも、福祉教育になっているのではないかと感じています。

「何かを教える・教えられるという一方通行の関係でなく、ともに育みをわかち合っている関係性があります。子どもたちの姿を通して、私たち自身が、福祉の原点に帰り、こんなに尊い、価値のあることに携わっていることに気づかさ



館長 原田 徹さん

れていることは大切な気づきでした」と崎本さん。

地域の子どもを みんなで育てたい

学校とタッグを組んで約15年。ここでは、福祉と教育、専門性の壁を超えて、連携が継続しています。その要因は、どこにあるのでしょうか。原田さんにお聴きしました。

「学校は、人事異動があるので、いい関係ができたと思っても、担当者が変わったらそこで終わることも少なくありません。また、子どもたちに『算数や読み書きを覚えてほしい』と思う先生方と『よく使う駅の駅員さんに顔を知ってもらうなど生活力をつけてほしい』と思う僕らとは観点がそもそも違います。それでも、多忙なかで僕らの考えに耳を傾け、一緒に考えてくださる学校との関わりは、長く続いています。足並みが揃うには、時間がかかるかもしれませんが、少しずつ理解し合い、地域の子どもたちをみんなで育てるしくみが創れたらと願っています」

DATA

住吉総合福祉センター

地域活動支援センターこころの相談ネットふうが、障がい児者余暇生活支援センターじらふ(放課後等デイサービス、移動支援など)、障がい通所事業を行っている。障がい通所事業では、就労継続支援B型事業としてラーメンも提供。利用者だけでなく、学生ボランティアや地域の住民や子どもたちなど誰でも入れる「総セン」として親しまれている。

企画・実践の体験学習で 地域福祉ってこんな感じとわかってほしい

大阪市立淀商業高等学校 福祉ボランティア科

3年間で人としての深い成長を

府内の公立高校で唯一の、福祉を専門に学ぶ「福祉ボランティア科」を設置する淀商業高等学校では、卒業時に国家資格である介護福祉士の受験資格を取得することができます。生徒たちは、3年間で約50日間、特別養護老人ホーム等での実践さながらの実習に取り組んでいます。そのための知識や技能の習得はもちろん、体験を重視した授業で生徒たちの実践力や応用力を養っていきます。

学科長の辻本さんは、3年間学んだ生徒たちの変化についてこう話します。

「1年生のときは自信がなく、人前で話するのが苦手だった生徒も、卒業する頃には相手の気持ちを考えて周囲にも配慮した発言ができるぐらいに成長しています。ともすれば自分のことを考えるだけで精一杯の高校時代に、地域の人とつながりを深めて、人間的成長を見る機会があるのは非常に良いことだと思います。他者とのつながりを通じて自分の良さもわかり、生徒たちの自己肯定感の向上につながっているようです」

学びを地域に還元する

同校では平成18年度から、夏休みに小学生の自由研究のお手伝いとして、生徒たちの手による「やってみよう福祉体験」を開催しています。この福祉体験学習は、地域の人々にも協力していただきながら、福祉について小学生と一緒に考えていくことをコンセプトにしています。各学年から生徒が集まり、「自分たちの学びをどう地域に還元するか」を考え、試行錯誤しながら、子どもヘルパーとして介護の仕事に触れ、VR（バーチャ

ルリアリティ）を使って認知症への理解を深めるなど、毎年のようにアイデアを出し合い、企画・運営してきました。

そして、これらの経験をいかして、平成23年度には小・中学校の「総合的な学習の時間」で授業に活用できる福祉教材『私たちのまちのバリアフリーを探そう～市バス編～』（DVD）を製作しました。さらに平成28年度には、文部科学省よりスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）指定校として選ばれたことをきっかけに、続編として地下鉄編の福祉教材（DVD）を製作するなど、福祉教育の充実を図りました。

平成30年度には、製作した福祉教材のDVDを市内の小・中学校に配布し、福祉ボランティア科教員が各校での出前授業を行っています。出前授業では、DVDの映像を活用し、小・中学生がバリアフリーに関する知識を身につけていきます。また、授業を通じて物理的なバリアだけではなく、心のバリアフリーが大切なことを感じてもらい、日常生活で中学生が実践できる「困っている人に対する優しさ」を提案し合う中で、学びを深めます。

出前授業を担当した同科教諭の小林さんは、「人への優しさが、やがて自分の心をも幸せにするのだと、中学生の皆さんが気づいてくれたのではないかなと思う時があります。話し合いの中で他者の価値観に気づき、さらに『まちで生活している人々の幸せ』についても考えることができると思います」と語った。辻本さんは、「小学生に教えることもそうですが、さまざまな出会いを通じて、地域福祉って、こんな感じだと生徒一人ひとりの福祉観を育むことができると思います。本校で学んだ生徒たちが、



教諭 小林 翔太さん

いつか地域福祉の課題にぶつかったとしても、地域住民の考えをまとめて解決に向かう力になると思うからです」と語った。

一歩先を見据えたリーダーに

同校の生徒たちは、施設実習やさまざまなボランティア活動への参加経験をいかして、自らも学校独自のボランティア活動を企画しています。地域の課題を他人事と捉えず、自分のこととして発信していこうとしているのです。

最後に辻本さんに生徒に期待することについて伺いました。

「超高齢社会のなかで、医療・介護・福祉の専門職だけで、地域住民の方々を支えることが難しくなっています。卒業生には、地域社会の一員という自覚とともに、時代のもう一歩先を見据えて、地域福祉のリーダー的な存在になってほしいと願っています。本校の福祉ボランティア科が、大阪における福祉教育の推進を担うプラットフォームとなり、福祉教育の情報発信の役割を果たせたらと考えています」

DATA

大阪市立淀商業高等学校

大阪府内の唯一の福祉に関する専門学科。卒業と同時に、介護福祉士の受験資格が得られる。1995（平成7）年の阪神淡路大震災における支援活動をきっかけに2003（平成15）年度「福祉ボランティア科」を創設し、福祉のスペシャリストを育成している。

個人の思いからスタートし、 みんなが幸せになる地域づくりをめざす

関西大学人間健康学 教授 所 めぐみさん



発見と気づきを促す経験を

福祉教育といえば、学校での取り組みのように捉えてしまいがちですが、近年、子どもたち自身が地域に出かけ、地域の課題に主体的に関わる取組みが増えています。そこでは、子どもたちも地域の一員です。大人とともに、課題について考え、悩み、話し合い、行動していきます。そのプロセスには、さまざまな人との出会いや学びがあります。

例えば、自分の地域にある認知症のグループホームで高齢者と日常的な時間を過ごすなかで、子どもたちは認知症があっても生活の工夫でできることがたくさんあること、認知症でも暮らし続けられる場所が地域にあることなどに気がつきます。

このように気づきを促し、生活のなかでの発見につなげることは、「こうあるべき」を教える教育とはちがう形の学習だといえます。

子どもも大人も地域の一員として、経験からの学びを重ね、一人ひとりの存在をどうすれば大切にしたいかを考えることで、「共に育つ」意識が醸成され、地域の課題を他人事でなく「自分ごと」としてとらえられるようになっていきます。

一人では実現できないから、 仲間とつながる

従来の福祉教育では、車椅子体験にみられるように援助の必要な対象をいかにサポートするかを学ぶことが中心でした。今日の共生社会形成においては、支える側・支えられる側の壁をなくし、多様な主体が連携して、「ともに生きる地域づくり」をめざしています。

しかし、地域の誰かが「こんな地域に

したい」という思いを持っても、一人では実現できません。そこで、同じ思いの仲間とつながる必要があるわけです。このとき、自分が実現したい地域像とともに、障がいのある人、認知症の人、外国人、刑余者など、さまざまな人たちの暮らしや生き方について関心を持ち、「ともに生きていこう」と意識することが大切です。いまでこそ、認知症サポーターの養成などを通じて、認知症への理解は広がっていますが、この状況になったのは、当事者が声をあげ、当事者やその家族同士、当事者を含めた住民から学ぶ機会が積み重ねられた結果です。

ともに生きる地域づくりは、「社会のために」でなく、「何とかしたいな」「こうなったらいいのに」という個人の思いからはじめればいいと思います。仲間づくりをしながら、次の活動を展開し、個人の自律的な活動や自己実現することを通して、地域福祉の実現をめざします。

福祉がゆずれない「人権の尊重」

いま「地域づくり」は、さまざまな分野・領域で政策課題となっています。地域で暮らす住民にとっては、自分の暮らしや生き方に関わってくることであり、政策にしばしば見られるような縦割りに対応できるものではありません。

地域を基盤とした福祉教育を進める上では、住民にとっての「地域課題」の解決に関わる関係者らとの連携・協働が重要です。

「地域づくり」と関わって、地域を基盤とした福祉教育は何をめざすのか。これにより具体的に「どんな人たち」と「どのように取り組むのか」、関係者との対話を通じて考えることも欠かせないプロセスです。

地域づくりを考えるうえで、福祉が譲れないのは、人権の尊重です。例えば、そのままの状態や状況で、地域の一員として、ともに活動することが困難な人がいるなら、その困難を何らかの方法で取り除き、地域で生活できるようにするのが福祉の役割です。これは、従来から地域福祉に携わっている人たちが大切にされてきたことでもあります。福祉がめざす「地域共生社会」は、人と人との関係性があり、誰も疎外されることのない環境をつくるのが前提なのです。

シンパシーからエンパシーへ

「ともに生きる地域づくり」の実践においては、まず、誰もが安心して話せる学びの場づくり、一緒に学ぶ人達との関係性づくりのベースが必要です。また、活動後はやりっぱなしではなく、プロセスを振り返り、学びを整理したり、言葉にしたりすることが大切です。

地域づくりのプロセスで出会う多様な人たちを理解するために、必要なのが「エンパシー」です。「シンパシー」が、自分が努力せずに得られる同情や共感など、感情の動きを示す言葉であるのに対し、「エンパシー」は、自分とは違う信念や考え方を持つ人が「何を考えているんだろう」と想像する力です。福祉教育では、自分とは違う価値観の持ち主であっても、この「エンパシー」の力によって相手に心をはせてものを考え、その人から出てきた言葉のひとつさえも、大切に受けとめてみるところから始められればいいですね。

大阪市のモデル事業●「介護の職場 担い手創出事業」

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは、介護施設で部屋の掃除、食事の片付け等、直接介助に携わらない業務を担う“介護現場の新たな人材”です。

アシスタントワーカー募集説明会&色彩コミュニケーション講座

住之江区(9月6日(月))、生野区(9月13日(月))において、「アシスタントワーカー募集説明会&色彩コミュニケーション講座～子どもの個性を知るカラーワーク～」を開催しました。

アシスタントワーカーは、無資格で短時間の勤務も可能なので、子育て中の方にも多く応募していただければと、区役所等区内でのチラシの配架のほか、子育て情報を掲載しているホームページやLINEでの情報発信を行ったところ、子育て中の方はもとより、シニアの方など幅広い年齢層の方に参加いただきました。

募集説明会では、法人の理念、施設の概要、アシスタントワーカーについての説明があり、参加者からは「参加施設の特徴がよくわかった」「働いてみたい」などの声がありました。



また、色彩コミュニケーション講座は、自分の子どもや関わりのある人に当てはめ、それぞれのタイプを知り、そのタイプに応じた関わり方などを学びました。

今回の募集説明会がアシスタントワーカー採用につながることを期待しています。

施設での受入準備(マニュアル作成)

各施設では、アシスタントワーカー受入準備として、わかりやすいマニュアル作成を行っています。まず、業務手順を作り、その手順に必要な情報をまとめて加えていきます。文章表現は、「少し」や「強めに」などの感覚的な言葉を使わず、どのように行うかだけでなく、それを行う目的も加えます。最後にその業務の出来栄を評価するためのチェックリストも作成しており、スタッフのスキルチェックにも活用されます。



令和2年度モデル事業所フォローアップ

住吉区の3施設とオンラインで、①現在のアシスタントワーカーの現状と効果・副作用について、②今後の職場課題について、③採用活動・人材確保についての意見交換を行いました。

デメリットはなくメリットばかりという意見に対し、「なぜうまくいったのか?」と質問したところ、「採用時に仕事内容を明確にした」「介護がないので敷居が低い」「人の役に立ちたいとの思いを持ってこられた」「教育のシステムがきっちりしている」などの回答がありました。

アシスタントワーカーを導入し、介護職員の負担軽減にはつながっていますが、コロナ禍の状況でやらなければならないことが増えているということもあり、さらなるアシスタントワーカーの活躍が期待されます。

HP <https://www.wel-osaka.com/AssistantWorker/>



◎令和3年度 かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修◎ (大阪市認知症疾患医療センター北エリア)

参加費
無料

テーマ／「あらためて問う 血管性認知症って何?」

講師／大阪市立弘済院附属病院
神経内科部長 吉崎 崇仁

座長／一般社団法人 大阪市東淀川区医師会
副会長 辻 正純

大阪市 福祉局 医務監 中西 亜紀

対象者／「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を修了
された医師及び認知症医療・介護・福祉にかか
わる専門職

応募人数／150名

日時／令和3年10月14日(木)14:00～15:00

申込締切／令和3年10月8日(金)まで

開催方法／オンライン開催 (Microsoft Teamsを利用)

申込方法／メール(「フォローアップ研修参加希望」と明記の
上、参加される方のお名前(ふりがな)、所属・勤務
先等、職種、電話・FAX番号を記入してください)

申込先／✉kousaiin-kouza@city.osaka.lg.jp

問合せ／大阪市立弘済院 担当:新谷

☎06-6871-8032

※問合せ可能日、可能時間

月～金(祝日を除く) 9:00～17:30

主催／大阪市立弘済院附属病院

大阪市こころの健康センター開催の講座・教室のご案内

①依存症に関する市民講座 対象:大阪市民及び大阪市内在勤者

	日時	内容	定員
アルコール 依存症	10月15日(金)14:00～16:00	講演「アルコール依存症ってどんな病気?」(依存症専門医)	40名(先着順)
	11月9日(火)14:00～16:00	講演「アルコールに関する問題を抱える方への対応」 (精神保健福祉士)・当事者の体験談	40名(先着順)

②依存症の家族教室 対象:大阪市民でアルコール、ギャンブル等の問題でお悩みのご家族の方

	日時	内容	定員
ギャンブル等 依存症	10月26日(火)14:00～16:00	講演「家族の対応について」(精神保健福祉士) 参加者交流会	15名(先着順)
	11月26日(金)14:00～16:00	当事者、家族の体験談 参加者交流会	15名(先着順)
アルコール 依存症	11月24日(水)14:00～16:00	講演「アルコール依存症について」(依存症専門医) 参加者交流会	15名(先着順)

※薬物依存症の家族教室は1月から開催予定

③飲酒と健康を考える会 対象:大阪市内在勤の支援者

日時	内容	定員
10月15日(金)19:00～21:00	講演「女性のアルコール依存症」事例検討、意見交換会	30名(先着順)

④こころの健康講座 対象:大阪市民及び大阪市内在勤者

日時	内容	定員
12月6日(月)14:30～16:30	講演「職場や社会での不適応と対応について」	40名(先着順)

※会場はすべて大阪市こころの健康センター(大阪市都島区中野町5-15-21 都島センタービル3階)です。

※新型コロナウイルス感染症の拡大等により中止になる場合があります。

問合せ・申込／大阪市こころの健康センター ☎06-6922-8520

②のみ各区保健福祉センターでも申込みを受け付けます

お住いの区保健福祉センター ☎06-〇〇〇〇-9968

〇〇〇〇の部分に右表の局番を入れておかけください。

区名	局番	区名	局番	区名	局番	区名	局番
北	6313	港	6576	東淀川	4809	阿倍野	6622
都島	6882	大正	4394	東成	6977	住之江	6682
福島	6464	天王寺	6774	生野	6715	住吉	6694
此花	6466	浪速	6647	旭	6957	東住吉	4399
中央	6267	西淀川	6478	城東	6930	平野	4302
西	6532	淀川	6308	鶴見	6915	西成	6659

大阪市社会福祉研修・情報センター



🏠 ホームページ

📘 フェイスブック

📱 も要チェック!!



- 参加申し込み受付中の研修が一目でわかる。
- 貸室の利用状況が確認できる。
- 情報誌「ウェルおおさか」の電子版を見ることができる。
- 図書・資料閲覧室に置いてある本の紹介が見られる。

- センターの最新の情報が確認できる。
- 研修の告知や報告をしています。受講の参考に。
- 研修以外にもセンターでの催しや普段の様子も。
- 更新頻度が高い。

▶▶▶ 詳しくは で検索!!

講座案内

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 研修中は常に換気を行うこと
 - 参加者間の距離を1メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
 - 演者等と聴衆との距離を1メートル以上離し、お互いの接触は行わないこと
 - マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
 - 後日、状態を確認できるようにするため、参加者の氏名、連絡先を取得すること
 - 受講者全員に、「大阪コロナ追跡システム」への登録要請を徹底すること
- ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。
ご理解いただきますようお願いいたします。

●市民向け講座

市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講決定	講 師	内 容	その他
【介護実習講座】 ステップアップ(応用) テーマ別コース	①11月5日(金) ②11月6日(土) ③11月13日(土) ④11月20日(土) ⑤11月25日(木) ⑥11月27日(土) いずれも 10:00～13:00	開講日の約1週間前に受 講証をお送りします	専門学校講師、介護福 祉士など	入門コースを修了された方がテーマ ごとに介護の知識・技術を深めるため のコースです。受講するテーマは複数 選択できます (1)応急手当 (2)移動① (3)移動② (4)排泄・着脱介助 (5)口腔ケア (6)食事介助	定員:各テーマ 16人(先着順) 希望される方は、お 問合せください 受講料:100円 (資料代) 受講当日に現金で 申し受けます

●福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
【キャリアパス研修】 管理職員コース (全日程オンライン)	11月18日(木) 12月7日(火) 10:00～17:00	大阪市内の社会福祉関 係施設・事業所に所属し 管理者に就いている方	大阪教育大学 特任教授 新崎 国広 関西福祉科学大学 教授 津田 耕一	管理職員としての役割を遂行するた めの基本を習得し、キャリアアップの 方向を示唆します	定員:30人 締切:10月14日(木) 受講料:6,000円+ テキスト代1,000円
【メンタルヘルス研修】 主任・リーダー職員 対象 「福祉主任・リーダーのた めのより良い職場づくりと 職員のメンタルサポート」	11月1日(月) 10:00～16:30	大阪市内の社会福祉関 係施設・事業所に勤務す る主任・リーダーの方	フェリアン 副所長 津村 薫	職場の要である主任・リーダーとし て、職員が心身共に健康に働ける良い 職場づくりを目指し、職場システムの 見直しや、職員のメンタルサポートな どについて学ぶ	定員:36人 締切:10月11日(月) 受講料:3,000円
【組織運営・管理研修】 職場研修推進 OJT推進研修	11月29日(月) 12月24日(金) 10:00～16:30	大阪市内の社会福祉関 係施設・事業所に勤務し、 職場研修担当者として従 事している方、又は予定 の方	関西福祉科学大学 教授 津田 耕一	職場研修の重要性を認識し、研修の ニーズを把握することや、職場研修の 仕組みを理解する。また、OJTの重要 性と推進体制を理解し、効果的な指導 方法についても学ぶ	定員:36人 締切:10月29日(金) 受講料:6,000円+ テキスト代1,000円
【介護職員研修】 介護職援助の 基本編 「グリーフケアとは 何か」	10月27日(水) 14:00～16:30	大阪市内の社会福祉関 係施設・事業所で高齢者 等の介護に従事する方	天理医療大学 看護学科 准教授 山本佳世子	喪失による悲嘆は死別だけではありません。 利用者や家族がさまざまな喪失と悲 嘆を経験し、それでも生きていくことを支 えていくことが介護の現場でも求められ ています。介護職員に求められるグリーフ ケアの基本的な知識を学び、利用者の思 いに寄り添うことの重要性を学びます。	定員:24人 締切:10月8日(金) 受講料:1,500円

★令和3年度 障がい者福祉関係研修のテーマが決定しました

①基礎	発達障がいの理解と対応 発達障がいの理解と支援(成人支援者向け) 障がいのある人の自己決定を踏まえた支援について 障がい者虐待防止について考える～利用者主体の支援とは～	日時・受講対象者・講師・内容等につ いては、調整中
②事業所別研修	グループホーム(世話人研修・生活支援員研修)	
③専門研修	GOKAN療育プログラム 触法障がい者の支援について	

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

「子どもたちがつくる町 大阪・西成の子育て支援」

村上 靖彦 著
世界思想社 2021年

「日雇い労働者の町」と呼ばれる大阪・西成。生活保護受給率は23%にのぼる。この町で型破りな子育て支援活動をする5人にインタビューし、自発的で変化に富んだセーフティーネットを紹介する。このしんどい町の、ゆたかな支援の秘訣とは？個性的な支援者5人へのインタビューが描く、誰も取り残さない支援の地図！



「認知症になった姪子さん 介護する家族の心が楽になる本」

姪子 能収 著 光文社 2021年

2020年7月、認知症であることを公表した著者。公表後も続ける連載コラムの傑作選を収録するとともに、著者の妻による介護相談、著者のマネージャーや担当記者の告白なども掲載。



「尊厳なきバリアフリー 「心・やさしさ・思いやり」に異議あり！」

川内 美彦 著
現代書館 2021年

「福祉のまちづくり」や「心のバリアフリー」は、はたして障害者の社会参加実現に役立ってきたのか。障害者の権利や尊厳が保障された社会にしていけるために、スローガンの危うさをつつと紐解く一冊。



「マンガでわかる介護職のためのコーチング 介護現場の悩みを一挙解決！スタッフや 利用者家族との関係を良くするための30の技術」

三田村 薫 著
誠文堂新光社 2021年

「コーチング」とは、課題や問題を自分で主体的に考えるためのコミュニケーション手法。介護現場でよくある悩みを取り上げ、コーチングの理論をもとに解決する方法をマンガや図・イラストを交えてわかりやすく解説する。



DVD紹介

「新型コロナウイルス 医師が伝えたいこと」

NHK EP 50分 2020年

日常生活を送りながら命を守るポイントを専門医がわかりやすく解説。新型コロナウイルスに感染すると、基礎疾患がある方や特定の病気の方は特に注意が必要だといわれている。新型コロナウイルスから命を守るためにはどうすればよいのか。基礎疾患がある方とそのご家族のみなさんへのメッセージ。



「海よりもまだ深く」

バンダイナムコアーツ 117分 2019年

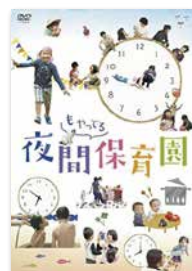
ダメ人生を更新中の良多。元妻の響子には愛想を尽かされ、息子の養育費も満足に払えないくせに、彼女に新恋人ができたことにショックを受けている。そんな良多の頼みの綱は、気楽な独り暮らしを送る母だ。ある日、母の家に集まった良多と響子と息子は、台風のため翌朝まで帰れなくなる。こうして、偶然取り戻した、一夜かぎりの家族の時間が始まる。



「夜間もやっける保育園」

東風 111分 2019年

夜間保育園は、子どもたちが安心して夜「も」過ごせる保育園。さまざまな事情で子どもを預ける親や保育士たちの葛藤やよここび。すくすくと育つ子どもたちの笑顔や寝顔や泣き顔…。知られざる夜間保育の現場から、家族のありかた、働きかた、いま私たちが暮らしているこの社会のかたちを照らす。



「閉鎖病棟 —それぞれの朝—」

東映ビデオ 116分 2020年

とある精神科病院。死刑執行が失敗し生きながらえた秀丸。幻聴に悩まされるチュウさん。DVが原因で入院する由紀。彼らは家族や世間から遠ざけられても、明るく生きようとしていた。そんな日常を一変させる事件が院内で起こった。彼らの日常に影を落とす衝撃的な事件はなぜ起きたのか。法廷で明かされる真実が、こわれそうな人生を夜明けへと導く。



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています（認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。）



●図書・約18,000冊 ●DVD・約940本 ●雑誌・約27種類

開室時間／月曜日～土曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時30分～午後5時

貸出期間／2週間（図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで）

利用資格／貸出し期間（2週間）内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類（免許証・保険証など）をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人になる病気、定期的ながん検診を受けましょう。

▼大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度※1
胃がん検診 (50歳以上の方は どちらか選択して ください)	胃部エックス線検査	取扱医療機関	500円	当該年度末現在50歳以上の大阪市民 ※ただし、令和5年度末までは40歳代 の方も受診可能 (年度中1回)
	胃内視鏡検査	取扱医療機関	1,500円	当該年度末現在50歳以上で前年度に受 診されていない大阪市民(2年度に1回)
大腸がん検診	免疫便潜血検査	保健福祉センター 取扱医療機関	300円	当該年度末現在40歳以上の大阪市民 (年度中1回)
肺がん検診	胸部エックス線検査 (ハイリスク者には喀痰細胞 診検査も併せて実施)	保健福祉センター 取扱医療機関	無料 (喀痰細胞診 検査400円)	
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	取扱医療機関	400円	当該年度末現在20歳以上で前年度に受 診されていない女性市民(2年度に1回)
乳がん検診	超音波検査	取扱医療機関 ※視触診あり	1,000円	当該年度末現在30歳代の女性市民 (年度中1回)
	マンモグラフィ検査	保健福祉センター ※視触診なし 取扱医療機関 ※視触診の有無は医療 機関により異なる	1,500円	当該年度末現在40歳以上で前年度 に受診されていない女性市民(2年 度に1回)
前立腺がん検診	PSA検査(採血)	取扱医療機関	1,000円	当該年度末現在50・55・60・65・70 歳の男性市民(年度中1回)

〈お問い合わせ〉大阪市健康局健康推進部健康づくり課(がん検診専用電話) ☎06-6208-8250

▼がん検診以外の検査も実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度
B・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	取扱医療機関	無料	20歳以上の市民で、過去に肝炎 ウイルス検査(大阪府が実施す るものに限らない)を受けたこと がない方。また大阪市肝炎フォ ローアップ事業に同意する方。
骨粗しょう症検診	踵骨超音波測定法	保健福祉センター	無料	当該年度末現在18歳以上 の大阪市民※1
歯周病検診	問診・口腔内診査	取扱歯科医療機関	500円	40・45・50・55・60・65・ 70歳の大阪市民※1※2

※1 いずれの検診も、当該年度に加入保険や勤務先等で同等の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察
中の方、自覚症状のある方、同一年度中に自治体、加入保険や勤務先等で同等の検診を受診済みの方(自費や診療による
ものは含まない。ただし、受診頻度が2年度に1回の検診は前年度受診済みも含む)は対象外です。また、無料受診の該
当者については、大阪市ホームページ等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

※2 令和3年度は昭和26年、31年、36年、41年、46年、51年、56年生まれの大阪市民の方

〈お問い合わせ〉大阪市保健所感染症対策課(肝炎ウイルス検査) ☎06-6647-0656
大阪市健康局健康推進部健康づくり課(骨粗しょう症検診) ☎06-6208-9943
(歯周病検診) ☎06-6208-9963

▼大阪市国民健康保険加入者へは生活習慣病の健診も実施しています。

特定健診	実施場所	料 金	対象者
	保健福祉センター等 取扱医療機関	無料 (要受診券)	大阪市国民健康保険に加入されてい る40歳以上74歳までの方(来年の3月 31日までに40歳になる方を含みます)

〈お問い合わせ〉大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

今月の自助具 電卓用キーボードカバー

主な適応疾患・対象者▶

- 指先が震えてキーを正しく押しにくい人

機能・特徴▶

- 電卓に適合するキーボードカバー
- 所定の穴を通してキーをタッチするため、押し間違いがない

使い方▶

- 電卓にかぶせて、粘着
テープでキーボードに
固定する
- カバーに設けられた穴
を通して所望のキー
にタッチする



資料提供・問合せ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋
☎06-4981-8492(月・水・金 10:00~15:00)
NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

車いす用クッション

しっかり座れて
清潔で快適なクッション



●洗える座クッション サポートン

姿勢の「安定と活動」を考えたクッション。上面は前
すべりを防ぎ動きをサポートし、底面は座シートの
たわみにも対応する形状を採用しています。ポリエ
ステル素材で蒸れにくく、丸洗いで清潔です。

優れた衝撃吸収性の
体圧分散式クッション



●車いす用クッション アルトネ

濡れた時でも、さっとひと拭き。専用カバーは、消
毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムによる消
毒にも対応可能。衝撃吸収に優れた低反発ウレタ
ンフォームにより、衝撃から皮膚を守ります。

高品質シープスキンで
体圧・摩擦・湿気を軽減



●ナースィングラック

車いす用背あて、クッション

長時間の座位をとられる方や車いすを使用中の方
に最適なクッションです。ムしることなく、些末を軽
減し体圧を分散します。ご家庭の洗濯機で簡単に洗
えます。(中材を取り出して洗ってください)

問合せ

公益社団法人

関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

http://kansil.jp

麒麟が如く 日本福祉と八尾隣保館

社会福祉法人 八尾隣保館の85年史

八尾隣保館の歩みは、大阪の社会事業史や全国社会福祉協議会の活動にふれることなく、語れません。群像劇に近い筆致で、現場の息吹を伝えています。福祉の道を目指す「あなた」にとっての入門書、必読の書ともいえます。

定価 1,980円(本体1,800円+税)

郵便振替またはAmazonでお求めいただけます

郵便振替で
ご購入の場合は

郵便局で下記の口座に1,980円をお振込ください。
送料無料で郵送させていただきます。

郵便振替口座 00980-9-236995

口座名 一般社団法人檸檬新報舎

法人史などの執筆、編集、出版を承ります

「麒麟が如く」は、檸檬新報舎(代表理事、平田篤州)が出版した初めての本です。檸檬新報舎は、編集プロダクションです。季刊「檸檬新報」を発行しています。「今、福祉に求められているのは、発信力だ」。スタッフはそんな想いで、走り回っています。気軽にお声がけください。

お問い合わせ

一般社団法人 檸檬新報舎

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-2-9 ビル皿井701 電話 090-7765-1812
<https://lemonshimpo.com/>



好評
発売中!

麒麟が如く
日本の福祉と八尾隣保館

人が生きることを支え、
共に生きる。

社会福祉法人 八尾隣保館
85年のあゆみ

檸檬新報舎

(広告)

カタチ にする フ。ロ

パンフレットやカタログなど、
作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社なら企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、各専門スタッフが、
お客様のイメージをトータルでカタチにします。

※詳しくは下記までご連絡ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL: (06) 6358-1010 FAX: (06) 6358-1011 E-mail: info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

福祉 職員のメンタルヘルス相談

ひとりで悩まずに
まずはお電話を



相談・予約電話

ハローサンキュー

06-4392-8639

✉ k-kanri@shakyo-osaka.jp

予約方法 上記番号へお電話ください。

平日 9時30分～21時 土・日 9時30分～17時

お気軽にご相談ください。秘密厳守

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、対人関係がうまくいかない…など、仕事上のストレスなどから生じる**悩み**の相談窓口です。ご本人だけでなく、同じ職場の上司や同僚の方から相談いただくこともできます。

●対象

大阪市内在住又は市内にお勤めしている福祉職員

●相談方法

電話または来所(まずは、ご予約ください)

●相談日時

毎週土曜日と第1・3水曜日

土曜日の場合は、祝日も実施(年末年始は

休み)いずれも午前9時30分～午後4時

●相談員

臨床心理士

●相談料

相談無料

来所による相談に加え、大阪市内の社会福祉施設への福祉職員対象のメンタルヘルスに関する出張研修を始めました。(追加で個別相談も可能)

センターにご相談ください。☎06-4392-8201

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 貸室予約がオンラインで24時間パソコンや スマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。 [ウェルおおさか](#) [Q 検索](#)

2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話
や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、午前9時30分から午後5時まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間
前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日
の3日前までです。

※当分の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用条件を変更してい
ます。

詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	48	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	16	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	24	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	16	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	8	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	72	5,800	7,700	5,800	17,400

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために利用人員のめやすに制限をかけています。ご了承ください。

交通／ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大和町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】こどもをめぐる人権

ありがとう いえたらいいね そのきもち

なかむら がい
中村 凱元さん(令和2年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 小学生(低学年)の部 優秀賞)